

資料編

目次

国勢調査にみる人口・世帯数の推移(第1章) ……	130
明治17年、22年の人口及び世帯数(第1章) ……	131
岡垣町町民憲章(第1章) ……	132
岡垣町の代表的な動植物(第3章) ……	133
岡垣町の民話(第4章) ……	134
「岡垣音頭」歌詞(第4章) ……	143
岡垣町航空写真・昭和46年撮影(第5章) ……	144
岡垣町航空写真・平成29年撮影(第5章) ……	145
まちの未来計画(第6次総合計画)(第5章) ……	146
岡垣町の歴史年表 ……	150
岡垣町の主な遺跡 ……	154
岡垣町の主な神社・寺・城址 ……	156



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015(平成27)年の国連サミットで採択された「持続可能な目標(Sustainable Development Goals)」であり、2030(令和12)年までに持続可能な世界を実現するための17の目標、取り組むべき169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」ことを理念とした国際社会共通の目標です。

国勢調査にみる人口・世帯数の推移

年次	人口(人)			人口密度 (人/Km ²)	世帯数(戸)
	総数	内訳			
		男	女		
昭和25年	14,339	7,156	7,183	295.6	2,708
昭和30年	15,629	7,879	7,750	322.2	2,944
昭和35年	13,417	6,621	6,796	276.6	2,683
昭和40年	13,807	6,642	7,165	284.7	3,094
昭和45年	16,760	8,039	8,721	345.6	4,094
昭和50年	21,483	10,296	11,187	442.9	5,601
昭和55年	25,327	12,096	13,231	522.2	7,000
昭和60年	27,872	13,261	14,611	574.7	7,914
平成 2年	27,896	13,188	14,708	575.2	8,406
平成 7年	28,807	13,589	15,218	593.9	9,118
平成12年	30,417	14,263	16,154	627.3	10,120
平成17年	31,332	14,735	16,597	646.0	10,886
平成22年	32,119	15,084	17,035	662.2	11,656
平成27年	31,580	14,769	16,811	649.3	11,784
令和 2年	31,007	14,481	16,526	638	12,120

明治17年、22年の人口及び世帯数

村名	明治17年		明治22年	
	人口(人)	世帯数(戸)	人口(人)	世帯数(戸)
波津	673	123	701	125
原	233	41	252	37
内浦	386	73	396	71
手野	510	91	507	92
三吉	398	55	403	60
吉木	1,114	194	1,143	192
岡県村域の計	3,314	577	3,402	577
高倉	570	104	592	91
上畑	179	32	180	31
海老津	293	54	297	51
山田	262	46	267	41
糠塚	524	98	516	84
黒山	335	62	339	56
野間	193	35	168	30
戸切	420	80	538	96
矢矧村域の計	2,776	511	2,897	480
総計	6,090	1,088	6,299	1,057

岡垣町町民憲章

第1章

町民憲章は、1987年（昭和62年）に制定されました。

孔大寺の山脈とそのすそ野にひろがる緑の大地、白砂青松の三里松原、白波くだける響灘。この自然豊かなふる里を愛する私たちは、誇りをもって住みよい町をつくるため、次のことを決めました。

- 一、歴史に学び、自然を愛し、活力のある町をつくります。
- 一、たがいに助け合い手を結び、ふれあいのある町をつくります。
- 一、教養と文化を高め、うるおいのある町をつくります。
- 一、誇りと責任をもって仕事に励み、豊かな町をつくります。
- 一、明るく健全な家庭をきずき、すこやかな町をつくります。



岡垣町の代表的な動植物

アカウミガメ(ウミガメ科)



(参考)環境省

町のキャッチフレーズ「海がめもかえる町」のとおり、三里松原の海岸に産卵のための上陸が確認されています。IUCN(国際自然保護連合)の絶滅危惧種に指定されています。

カワセミ(カワセミ科)



(参考)環境ビジョン

鮮やかな水色の体と長いくちばしの特徴の町のシンボルの鳥です。水辺に生息しており、魚を主食としています。

ホタル



5月から6月にかけて、水辺で発光する昆虫です。町内には、主にゲンジボタルとヘイケボタルが生息しています。

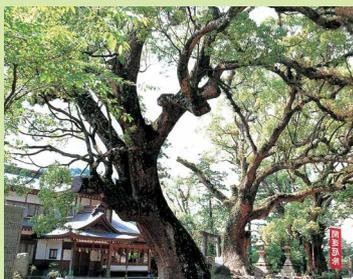
ハマボウ(アオイ科)



(参考)環境ビジョン

河口や海岸の砂泥地に生育する落葉低木です。7月から8月にかけて直径5cmから10cmの淡い黄色の花を咲かせます。県の絶滅危惧種に指定されています。

高倉神社の樟



神社内に生育する大樟6本のうち5本が、県の天然記念物に指定されています。

三里松原のクロマツ林



(参考)県レッドデータブック

面積約430ha、全長約12kmで、防風・防潮・防砂などの機能を果たしています。県の絶滅危惧種に指定されています。

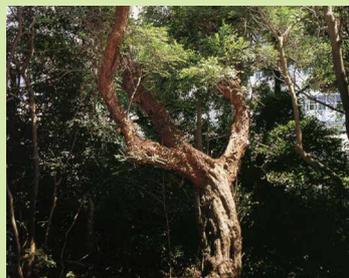
モウソウキンメイチク(マダケ科)



(参考)環境ビジョン

黄色と緑のコントラストが美しく、孔大寺や城山で見られます。岡垣町は国内でも数ヶ所しか確認されていない希少な群生地の一つです。

シャシャンポ(ツツジ科)



岡垣病院の裏に生育する大木で、樹齢は200年程度と推定されています。町の天然記念物に指定されています。

1

たる み とうげ
垂水峠のカッパ

岡垣町と宗像市のさかいに垂水峠があります。昔は樽見峠たる み とうげと書いていたそうです。

むかし、むかしのある暑い夏の日のことでした。一人の若者が峠の手前で休んでいると、見知らぬ老人が近づいてきて、

「もし、もし。すいませんが、この樽を芦屋まで届けてくれないでしょうか。お礼ははずみますので…。」

と言いました。見てみるとこの暑いのにみのかさをつけ、背中には大きな樽を背負っていました。老人が、

「急ぐ品物ですが、私はこのとおりの年をとって、気分も悪い。どうか頼みを聞いて下さい。」

と言うし、お礼もはずむということなので、

「俺も芦屋に行くところだから、届けましょう。」

と若者は返事をしました。老人は、

「それはありがたい。では、この手紙もお願いします。でも、手紙も樽の中も決して見ないと約束して下さい。」

と言って届け先を教えました。

若者はギラギラと照りつける太陽の下、一生懸命に樽を運びました。そして、峠にさしかかると、そこから見えた海の青さがあまりにも美しかったのでひと休みすることにしました。そして、ふと先ほどの老人のことを思い出しました。

「いったいこの手紙は何だろう。」

そう思い出すと、もう手紙が見たくて見たくてたまらなくなりました。若者はこっそりと手紙を読みました。手紙には、『このしりをもって、せんじりなり』と書いてありました。若者には何のことかわかりませんでした。すると今度は樽の中が気になり始めました。

「樽の中を見るとわかるかもしれない。」

そう思うと、樽のふたを静かにあけて、中を見てしまいました。

「ぎゃっ！…」

若者は思わず叫んでしまいました。そして、若者の顔がみるみるうちに青白くなり、手足はふるえ、腰を抜かしてしまいそうでした。若者は転げるようにしてふもとへ下っていきました。

樽の中には、なんと人間の尻が九百九十九、若者の尻を入れるとちょうど千になるのです。若者はやっと、『このしりをもって、せんじりなり』の意味がわかり、あやうく命を落とすところだったということに気づき、背筋がぞっとしました。あの老人は実はカッパだったのです。これはカッパのしわざだったのです。

このことがあってから、この峠を「樽見峠」と呼ぶようになり、いつからか「垂水峠」と書くようになったそうです。



※「垂水峠のカッパ」は2011年(平成23年)福岡県民文化祭オープニングイベント(岡垣サンリーアイにて)の中で、野村万禄・新作狂言として演じられました。

特別公演『野村万禄・新作狂言』
～岡垣町に伝わるカッパ伝説が蘇る～

2

やはぎがわ
矢矧川と弓の矢

仲哀天皇が、くまそせいばつのため、神功皇后と岡津にしばらく泊まり、作戦をねっていたころのお話です。

仲哀天皇は、多くの兵隊に命じて、弓矢などの武器を準備させました。その時のことでした。清らかな流れの川を下った川べりに一人の兵士がいました。兵士はこの川辺にすばらしい弓の矢となる竹林を発見しました。さっそく、数本の弓の矢を作って、ためしてみることにしました。兵士は、川を下って海岸に出ました。山鹿岬の方を見ると海岸につき出した岩山を見つけました。

兵士は弓を力いっぱい引きしぼり、ためしの矢を放ちました。

「あっ、当たった！なんということだろう。」

兵士は自分の目を疑いました。つき出た岩山にはすっぽりと大きな穴があいていたのです。

兵士はよろこびいさんと、神功皇后に申し上げました。そこで、皇后はこの川を矢矧川とよばれたと言い伝えられています。

また、矢で打ち抜かれた岩山は、洞山といわれるようになったということです。



3

ちたるがわ
乳垂川

高津峯は、高倉神社の南側にある山で、大倉主命、兔夫羅媛命が高倉とこの付近を治めよと命を受けて降臨されたところといわれ、霊峰と仰がれています。

この高津峯の山腹に泉の出るところがあります。神功皇后が誉田別帝をお産みになったとき、お乳が足りませんでした。神のお告げがあり、

「高津峯に霊泉がわいている。これをくんで飲むと、乳は十分出る。」と言われました。神功皇后は、この霊泉のことを後世に伝え、その幸せを受けさせるために、乳垂と名付けたと言われています。

この泉が流れて乳垂川となり、高倉神社の前を流れています。吉木付近からは石川と呼び、さらに下流は汐入川と呼ばれて海に注いでいます。



4 雷の好きなヘソ

むかし、元松原と黒山のため池に、ガタ吉とガタ介というカッパが住んでいました。

ある夏の日、突然ものすごい夕立になりました。かみなりが近づいてきてピカッ！と光ったかと思うと、池にパツシャーんと大きなものが落ちてきました。それを見ていたガタ吉はなんだろうと思って、水の中をもぐっていきました。すると頭に一本の角をはやしたかみなりの子どもが沈しずんでいました。

「ありゃ！かみなりの子じゃねえか。どこからおちてきたんだ。」

二人はかみなりの子を助けて親切に手当をしてあげました。でも、かみなりの子は、おうちに帰りたいといって、泣くばかりでした。

ガタ吉とガタ介がとってきた魚を食べていると、かみなりの子は一段と大きな声で泣きました。

「あーん、あーん、はらがへったよ。はらがへったよ。」

ガタ吉とガタ介はあわてて、魚をかみなりの子にもやりましたが、

「そんなもんより、人間のヘソが食いてえよ。」

といってまた泣き出しました。こまった二人は、どうしようかと相談しました。そして、

「人間のヘソを持ってきてやるから、ちょっと待てる。」

といって、二人はすっとなで出かけていきました。しばらくして二人は大きな葉っぱにいっぱい何かをつつんで帰ってきました。

「人間のヘソだ。さあ、お食べ。」

かみなりの子はパクパクとすごいはやさで食べました。

「ああ、とっってもうまかった。のこりも、もらっておくぞ。」

と満足そうでした。

夕方になると、大きなかみなりが鳴り出し、ピカッ！と光ると、池にバッシャンと大きな音がして、今度はかみなりのお父さんが落ちてきました。かみなりのお父さんは子どもを助けてくれたお礼に、いつでも水が出る弁天様のおふだを二人にわたしました。

「父ちゃん、人間のヘソを食べたよ。うまかったよ。ほらこれだよ。」
そういわれてかみなりのお父さんはのこりのヘソをパクッと口に入れました。

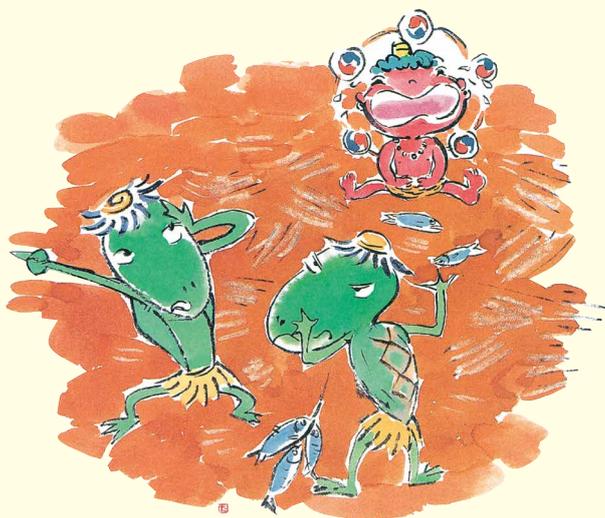
「うん！うまいヘソだ。この辺の人間は、こんなうめえヘソをもつてんだなあ。」

「この辺の人間は産まれるとすぐにヘソをからに入れて、田んぼの中に捨てるから、味もよくなるんです。」

という二人の話に納得して、親子は天に帰って行きました。

かみなりの親子が帰った後、二人は顔を見合わせてゲラゲラと笑い始めました。

「うまい人間のヘソ」は、実は「タニシ」だったのです。



むか～し、むかし、岡垣の里、元松原のお宮の近くに嘉一郎という祭文語り^{さいもんがた}が大変好きな人がいました。

日ごろは正直なのんきもので、よく働いていましたが、若い頃けんかをしたので、死んでから地獄に落ちてしまいました。

地獄にはえんまさまがいて、人間が生きていた頃にした悪事をいろいろ読み上げて裁き^{さば}をします。嘉一郎は白い着物を着て、大勢の者といっしょに並んで順番を待っていました。嘉一郎はいたってのんきものだったので、みんながおそれおののいている中で、平気な顔をして、辺りを見回していました。

そのうちに赤おにが大きな声で、

「元松原の嘉一郎！出てこおい！」

と呼びました。すると青おにが嘉一郎のからだを、ひょいとはつまみ上げて、えんまさまの前へぽいと放り出しました。きょとんとしていると、えんまさまは、

「おい！おまえはなんという名前だ。」

と尋ねました。嘉一郎は、

「わたしゃあ、元松原の嘉一郎ですが、なんのようでしょう。」

というと、えんまさまは、

「これから尋ねることにちょっとでもうそをつくなよ。どんなうそをついてもわしの後ろにある『浄玻璃^{じょうはり}の鏡』には、おまえの一生の間にしたことが、ありのまま残らずうつるからなあ。ところで、おまえはどんな仕事をやっていたのだ。」

「わたしゃあ、仕事より祭文語りが好きですなあ。」

「なに、なんじゃ、その祭文語りとは、どんなことをするのじゃ。わしにもう少しわかるようにいえ。」

と問い返しました。すると嘉一郎は、

「ほほう、えんまさまはご存じないのですか。祭文といって人間の世界のできごとを歌にして歌うんです。それを聞くと、人間なら誰でもおもしろがるんです。」

といいました。すると、えんまさまは、

「そうかい、そんなにおもしろいものなら、わしにもひとつ、歌ってくれんかい。さっきから、人間の悪事のみつともない話ばかり聞かされているので、退屈していたところだ。さあ、聞かせてくれ。さもないと、おにどもに命じて、鉄のぼうでたたきつぶしてしまうぞ。」とどなりつけました。嘉一郎は少しおかしくなりましたが、まじめな顔をして



「はい、はい。そうしろといわれるのなら、祭文語りをやってみましょう。でも、祭文語りは、こんな下座しもの低い所にはできません。高座の上にあがって姿勢をよくしないと歌えないので、えんまさまとおらが入れかわって、えんまさまはこの下座へ来てください。」

といいました。えんまさま

はちょっといやな顔をしていましたが、祭文を聞きたいばかりに下座におりました。嘉一郎はそのかわりにえんまさまの高座に座りました。

そのとたん、不思議なことに嘉一郎がえんまさまの姿になり、えんまさまが白い着物姿になってしまいました。ゆかいになった嘉一郎は大声を張り上げて、

「おいこらあ！えんま！おまえはこれまでずいぶん、たくさんの人間をひどい目にあわせたなあ。その悪事によって、おまえははり地獄から、火の地獄へ落ちていけ。赤おに、青おにどもよ、何をしとるか。それ急げ！！」

といいました。すると、もとのえんまさまは、おにどもにせめられて、そのまま地獄の底へ消えていきました。

それからのち、嘉一郎は長く地獄に住んで、えんまさまの仕事をつとめました。そして、自分の生まれた元松原の人が死んで、地獄に落ちてくると、

「おまえは、元松原の人間かい。おれ、生きているときに、村の衆にかわいがってもらって、楽しく過ごすことができた。恩返しに、元松原の人間だけは地獄には送らんから、さあさあ、逆戻りして極楽へ行きなさい。」

とって、青おにに極楽の門まで案内させたそうです。

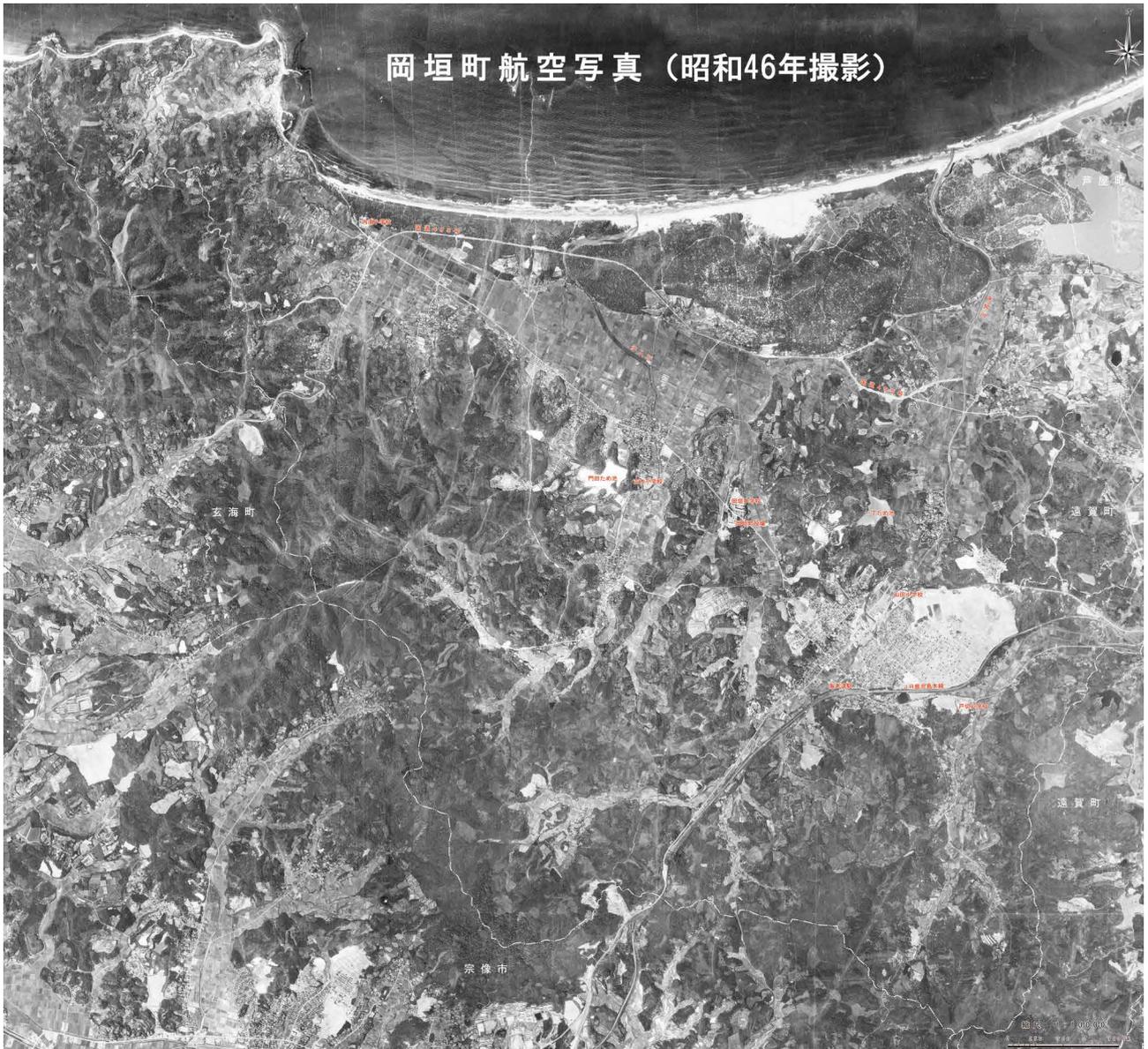
「岡垣音頭」 歌詞

作詞：岡垣町町制施行二十周年記念行事企画委員会

作曲：岡 千秋 編曲：小沢直与志

唄：西川 峰子

- 一 ハアー
湯川山^{ゆかわ}から 眺むれば
三里松原 ひびき灘
松の緑に 玄海青く
沖^{しらしま}に白島 波躍る
ソレ トットン トトンで 波躍る
波躍る
- 二 ハアー
赤・黄・紫 四季^{いろ}の色彩
水も豊かに 乳垂川^{ちたる}
額の汗も 夕陽^{ゆうひ}に映えりや
燃える希望の 明日^{あす}が来る
ソレ トットン トトンで 明日^{あす}が来る
明日^{あす}が来る
- 三 ハアー
海老津^{えびつ}の丘に 陽が昇りや
羽ばたき伸びる 岡垣の
老いも若きも 心は一つ
夢も大きい 町づくり
ソレ トットン トトンで 町づくり
町づくり
- 四 ハアー
成田不動寺^{たかくらぐう} 高倉宮
疔癩封じ^{せんじゃふう}の 竜昌寺^{りゅうしょうじ}
波津^{はつ}の港に 生魚跳ねりや
観光岡垣 皆おいで
ソレ トットン トトンで 皆おいで
皆おいで

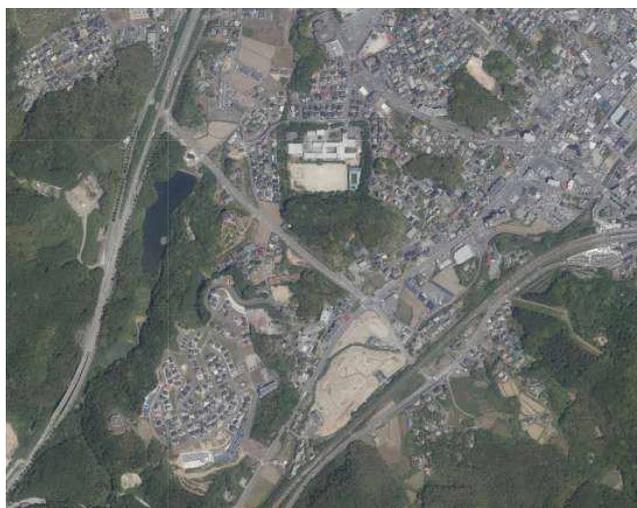


海老津風の森拡大写真



松ヶ台拡大写真

岡垣町航空写真（平成29年撮影）



海老津風の森拡大写真



松ヶ台拡大写真

まちの未来計画

2021-2030

まちづくり
の視点

まちの未来計画(岡垣町第6次総合計画)とは

総合計画は、将来、私たちの岡垣町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことをしていくのかを総合的・体系的にまとめた町の最上位計画で、今後の10年間のまちづくりの方針や目標を示したものです。

これからの岡垣町に求められるまちづくりとは

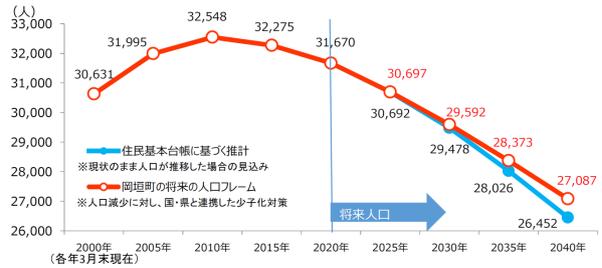
●人口減少を見据えた持続可能なまちづくり

本町の人口は、2010(平成22)年をピークに、人口減少が進み、2040年には約26,000人まで減少すると推計しています。

人口減少や高齢化が更に進むことで、地域活動の担い手が不足し、従来から行われてきた地域活動が衰退してしまう懸念があります。

こうした背景を踏まえ、本計画では、人口減少を見据え、様々な施策を展開することで、持続可能なまちを目指します。

(将来の人口推計と将来人口フレーム)



目指す
まちづくり
の将来像

自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣

住民の愛着のある豊かな自然と豊かな自然によりもたらされたおいしい水、食の恵み、子育て環境、住民のふれあいがある暮らしは、「**岡垣らしい しあわせ**」と言えます。

人口減少社会への転換が求められる中であっても、将来にわたり、町では「**岡垣らしい しあわせ**」を守り育て、住民一人ひとりがしあわせを実感できる町を目指します。



5つの
基本目標

将来像を実現するための5つの基本目標



まちの未来に向けて めざす 18 のまちづくり

基本目標1
自然を守り、活かし交流を生むまち

1 豊かな自然を守り、育てる
まちの魅力である、豊かな自然を住民・団体・企業との交流・連携により、自然を守る活動を広げていきます。

2 おいしい水、きれいなまちを守る
おいしい地下水を守るとともに、ごみの減量化や生活環境の保全活動を促進します。

3 地域から地球温暖化を防止する
省エネ対策や再生可能エネルギーの導入など、地球温暖化対策に取り組みます。

主な取組

- 三里松原と美しい海岸の保全
- おいしい水の安定供給・PR など

基本目標2
地域資源を活かし発展するまち

4 農業・漁業を守り、育てる
様々な農水産物を持続的に安定して供給するため、生産基盤の維持や経営者への支援、後継者の育成に取り組みます。

5 商工業を支援し、地域経済を活性化する
地域の雇用を支える商工業の経営支援を行うとともに、新たな企業の誘致や起業・創業の支援などに取り組みます。

6 地域資源を活かした観光を推進する
自然や食などの地域資源を活かした観光交流を拡大するとともに、町の魅力を効果的に情報発信します。

主な取組

- 農業・漁業の生産基盤の維持管理・活用
- 自然などの地域資源を活かした体験型観光の開発 など

基本目標3
人・つながりが育つまち

7 安心して子育てができるまちをつくる
安心して子どもを産み・育てられるよう、妊娠から出産、育児まで切れ目のない子育て支援や保育環境の充実を図ります。

8 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる
子どもが社会で生き抜く力とふるさとへの愛着を育む学校教育を推進します。

9 住民がともに学び、ふれあうまちをつくる
文化活動やスポーツなどの生涯学習の推進、住民交流を促進し、まちづくりの輪を広げます。

主な取組

- 子育て世代包括支援センター等を中心とした総合的な子育て支援、保育環境の充実
- 英語教育やICTを活用した教育の推進 など

基本目標4
誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

10 住民が健康で暮らせるまちをつくる
住民の健康管理・健康増進の意識を高め、地域での健康づくり活動に参加しやすいよう、健康づくりの輪を広げます。

11 誰もが安心して暮らせるまちをつくる
「お互いさま」の心で支えあうネットワークの充実、高齢者や障害のある人への福祉環境の充実を図るとともに、誰もが地域の様々な場面で活躍し、働きがいや生きがいが生まれる機会を提供します。

12 互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる
互いの人権を尊重し、ともに認めあい個性が発揮できるまちづくりを推進します。

主な取組

- 特定健診の動員など住民の健康意識を高める取組や相談の充実
- 地域福祉活動を支えるボランティアなどの人材育成など

基本目標5
安全・快適に暮らせる持続可能なまち

13 成熟した都市の再生を推進する
持続可能な都市づくりを推進するため、駅周辺の活性化、便利な公共交通の整備を進めます。

14 安全で便利な都市基盤をつくる
定住促進や企業進出を見据えた道路ネットワークの整備などにより、都市の利便性の向上を図ります。

15 災害から住民を守る
大規模な自然災害に備え、災害に強い基盤づくりを推進するとともに、自助・共助による防災活動を促進します。

16 犯罪・事故から住民を守る
犯罪を抑止するための環境整備や地域の防犯活動を支援するなど、地域の犯罪を抑止する取組を促進します。

主な取組

- 住民のニーズに対応した新しい公共交通体系の構築
- JR海老津駅周辺を快適に利用できる環境整備
- 河川改修等、災害に強いインフラの整備
- 各自治区における自主防災組織の活性化 など

計画推進の基盤

17 住民とともにまちづくり活動を広げる
地域のコミュニティ活動を促進するとともに、自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します。

18 社会変化に対応した行財政運営を推進する
社会変化に対応し、将来を見据えた計画的な行財政運営を推進するとともに、町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります。

広げよう！まちづくりの輪！

今までの協働のまちづくりで培われたまちづくりの輪を基本に、これまでまちづくりに参画する機会がなかった住民や企業、町外の人たちを巻き込み、「対話・交流」「共感・つながり」「実践・成長」「連携・拡大」を生むことで、まちづくりの輪を広げます。



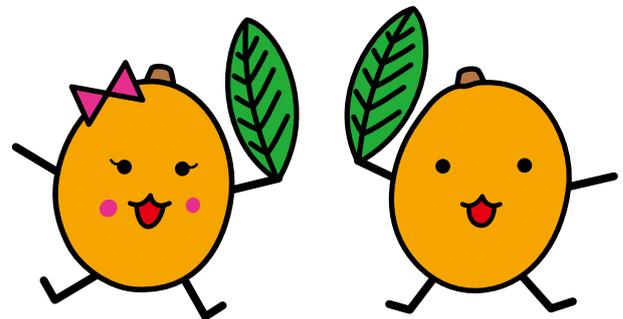
岡垣町の歴史年表

昭和 37 年	6 月 報恩母の家完成	昭和 46 年	9 月 米軍、射爆撃場の運営を停止し撤収
昭和 38 年	10 月 町制施行 国道 3 号新海老津に町内初の信号機設置 岡垣町老人クラブ寿会連合会結成	昭和 47 年	10 月 国勢調査、人口16,760人、4,094 世帯 高倉地区に西鉄団地造成開始
昭和 39 年	5 月 高倉神社の綾杉、県文化財に指定	昭和 48 年	4 月 遠賀郡消防組合発足
昭和 40 年	6 月 九州ハマホーム、企業誘致条例により操業	昭和 49 年	5 月 農業振興地域整備計画認可
昭和 41 年	7 月 初めて水稻害虫航空防除実施	昭和 50 年	7 月 町章決まる
昭和 42 年	8 月 町議会、最初の射爆撃場即時撤去を決議	昭和 51 年	8 月 湯川山に電電公社無線塔設置 第 1 次長期総合計画を策定 米の過剰生産により生産調整が始まる
昭和 43 年	12 月 海蔵寺の木造馬頭観音坐像、県文化財に指定 百合ヶ丘団地造成開始、以後宅地造成相次ぐ	昭和 52 年	3 月 快速電車が初めて海老津駅に停車 射爆撃場日本に返還
昭和 44 年	4 月 郡内の農協が合併し、遠賀郡農業協同組合が発足	昭和 53 年	4 月 中央公民館を開設 県立療養所が県立病院と改称し、消化器科・循環器科を増設
昭和 45 年	5 月 戦没者慰霊塔除幕	昭和 54 年	4 月 老人憩の家「若潮荘」開設
	12 月 九州大本山成田山不動寺を内浦に誘致 山田小学校鉄筋 2 階建て防音校舎完成	昭和 55 年	5 月 射爆撃場 5 年以内の返還を閣議決定
	3 月 第 1 回町民体育祭を岡垣中学校で開催		6 月 宗像信用組合岡垣支店開設
	10 月 国勢調査、人口 13,807 人、3,094 世帯		8 月 岡垣町土地開発公社を設立
	12 月 第 1 回産業祭を岡垣中学校で開催 海老津第 1 映画館閉鎖		8 月 用途地域を決定
	1 月 青少年問題協議会発足		10 月 地域集団電話を一般電話に切替開始 東部公民館を開設
	6 月 北九州に豪雨、城山トンネルに土砂が流入し、列車不通 役場東部詰所を出張所に昇格		2 月 町営無料駐車場を海老津駅下に設置
	12 月 射爆撃場の自衛隊共同使用を承認 県道北九州・芦屋・福岡線、町内道路開通		4 月 中部保育所開設
	3 月 湯川林道完成		10 月 国勢調査、人口 21,483 人、5,601 世帯
	4 月 水道事業、地方公営企業法の適用		11 月 戸切小学校子供郵便局、郵政省貯金局長賞を受賞 内浦小学校、九州地域緑化推進大会で功労賞を受賞
	7 月 戸切小学校百合野校舎から龍王新校舎へ移る		海老津台団地造成開始
	5 月 31 の行政区、21 の農業実行組合が発足 都市計画区域の決定		3 月 浄水場施設完成
	6 月 町営保養施設臨海荘開設		4 月 岡垣町民体育館落成
	10 月 国土調査事業に着手 東部保育所開設（海老津の村立保育所が東松原へ移動）		4 月 海老津小学校開校
	3 月 役場新庁舎が野間に完成し、業務を開始 役場内に福岡銀行派出所を設置 県指定文化財綾杉、原因不明の火災で根元を焼く		7 月 西日本相互銀行海老津支店開設
			10 月 有線放送の設置工事始まる 町制施行 15 周年記念祝賀式
			1 月 山間部を除く町内全域に給水開始
			3 月 西部公民館を開設
			6 月 岡垣対地射爆撃場、自衛隊より返還 岡垣有線ラジオ放送開始 国道 3 号岡垣バイパス工事着工
			3 月 町民総合グラウンド完成
			4 月 遠賀・中間地域広域行政事務組合設立 老人憩の家「乳垂荘」開設
			1 月 元松原で遺跡発掘調査開始
			6 月 海老津駅前広場開発計画まとまる

昭和 56 年	7月	野間窯跡群発掘調査開始	平成 3 年	10月	国勢調査、人口27,896人、8,406世帯とびうめ国体大会旗・炬火リレー
	9月	住民基本台帳電算処理を開始		11月	ふれあいスポーツ広場落成
	10月	国勢調査、人口25,327人、7,000世帯 福岡銀行岡垣支店開設		3月	第3次総合計画策定
	3月	岡垣中央公民館横に弓道場を設置		4月	浄化センター完成 社会福祉法人岡垣町社会福祉協議会設立 公共下水道第1期認可区域供用開始
昭和 57 年	4月	岡垣東中学校開校	平成 4 年	8月	核兵器廃絶平和の町宣言事業で平和映画上映
	7月	集中豪雨で民家流出11戸、被害額12億円 糠塚地区に遠賀郡農協の大型乾燥貯蔵調整施設(カントリーエレベータ)完成		10月	役場庁舎増築工事完成
	3月	第2次長期総合計画策定		1月	総合ふれあい公園建設工事着工
	5月	青少年健全育成町民会議結成		2月	老人憩の家「ことぶき荘」開設
昭和 58 年	7月	県道若松・芦屋・福岡線開通	平成 5 年	5月	社団法人岡垣町シルバー人材センター開設
	10月	町制施行 20周年 記念式典		10月	町制施行 30周年 第1回まつり岡垣開催
	11月	役場庁舎増築工事で新館完成		3月	岡垣サンリーアイ(第1期施設)落成式
	2月	岡垣東中学校体育館完成		4月	第44回福岡県植樹祭、岡垣サンリーアイで開催
昭和 59 年	8月	海老津駅前広場の整備事業に着手	平成 6 年	7月	岡垣サンリーアイ開館 図書館管理システム開始
	2月	都市計画下水道事業を決定 東部公民館の増築工事完成		6月	三里松原ウミガメ調査開始
	3月	戸切地区の町営住宅完成		7月	岡垣パーキング(国道3号バイパス)完成
	6月	波津海水浴場に休憩所完成 青空市場実行委員会発足		10月	「同和对策事業終結に関する合意」成立(物的事業の終結)
昭和 60 年	3月	町民武道館完成 公共下水道工事に着工	平成 7 年	1月	町をあげて阪神淡路大震災義援金活動
	4月	身体障害者福祉施設「集いの家」設置		3月	住民参画による「イメージづくり計画」策定 キャッチフレーズ「海がめもかえる町」・シンボルマーク決定
	10月	国勢調査、人口27,872人、7,914世帯		4月	住民票・印鑑証明書等自動交付機が稼働
	7月	核兵器廃絶平和の町宣言		5月	同和对策(物的)事業集結完了記念祭
昭和 61 年	8月	海老津駅改良工事に着工	平成 8 年	10月	国勢調査、人口28,807人、9,118世帯
	2月	吉木小学校特別教室完成		3月	海老津駅周辺桜並木復活のため苗30本植樹 第3次総合計画後期基本計画策定
	3月	町営住宅三吉団地完成		4月	海老津駅前広場に「駅前ぎやらりー」完成 農業集落排水事業着手
	4月	口座振替制度開始(税・水道料金)		5月	屋内ゲートボール場「すぱーく岡垣」落成式
昭和 62 年	2月	全庁オンラインシステム開始	平成 9 年	6月	国道3号バイパスに「岡垣パーキング休憩施設」完成
	12月	町民憲章制定、町花を「つつじ」、町木を「樟」に決定 三里松原が全国白砂青松百選に選ばれる		9月	出前講座「なんでも知ってみよう講座」開始
	8月	岡垣中学校バドミントン、満石君全国制覇		3月	おかがき総合福祉保健センター「いこいの里」落成式
	9月	国土利用計画策定 林業後継者部会が県知事賞を受賞			
平成 元年	12月	海老津駅舎・駅前広場が完成			
	4月	岡垣清掃センター(戸切)稼働開始			
	7月	波津地区で第1回納涼花火大会を開催			
	8月	ケニアより子供使節団が岡垣町を訪問 岡垣町、よかトピア(福岡博覧会)に参加			
平成 2 年	7月	国道3号岡垣バイパス線開通			
	8月	第1回国内外短期留学事業により、小中学生を四国へ			

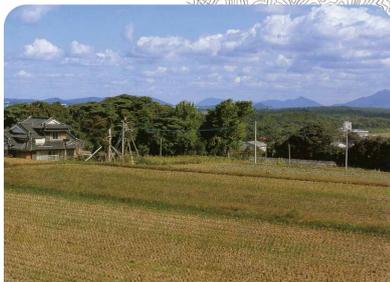
平成 10 年	6月	おかがき総合福祉保健センター「いこいの里」開館	平成 18 年		福岡西方沖地震が発生し、半壊1棟などの被害発生
	11月	人口30,000人を超える		4月	コミュニティバスふれあい運行開始 下水道事業、地方公営企業法の適用
	12月	岡垣中学校創立50周年記念式典		10月	国勢調査、人口31,332人、10,886世帯
	2月	町のホームページ開設		3月	第4次総合計画後期基本計画策定 行財政構造改革プログラム策定 漁業集落排水事業完了
	4月	漁業集落排水事業着手		4月	九州鉄道・赤レンガアーチを町指定文化財に指定
平成 11 年	5月	生涯学習まちづくりフォーラム in 岡垣開催	平成 19 年	6月	波津海岸が「快水浴場100選」に選ばれる
	8月	全国町村下水道推進大会・研究会議をサンリーアイで開催		11月	海老津小学校創立30周年記念式典
	10月	映像広報開始		1月	職員による青色回転灯パトロール開始 岡垣サンリーアイ利用者300万人突破
平成 12 年	3月	町の鳥をカワセミに決定 第1回春まつり開催	平成 20 年	4月	NHK福岡放送局で「岡垣いきいきネット」テレビ生放映 町議会議員定数18人から16人へ 遠賀・中間リレーセンター稼働開始、 可燃ごみの処理を北九州市に委託
	5月	遠賀郡4町合併任意協議会発足		5月	モデル校区「山田校区コミュニティ運営協議会」活動開始
平成 13 年	3月	岡垣サンリーアイ(第2期施設)落成式	平成 21 年	8月	本格焼酎「岡垣」完成 岡垣源泉「大地の水」提供開始
	6月	公共施設予約システム稼働 岡垣サンリーアイ(第2期施設)ウェブアリーナ開館		5月	「4校区(内浦・吉木・海老津・戸切)コミュニティ運営協議会」活動開始
	10月	国勢調査、人口30,417人、10,120世帯		8月	池田信太郎選手北京オリンピックにバドミントン男子ダブルスで出場
平成 14 年	3月	第4次総合計画策定	平成 22 年	9月	吉木小学校給食民間委託
	8月	山田小学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成		1月	地域による青色回転灯パトロール開始
	9月	遠賀郡4町合併任意協議会解散		7月	中国・北部九州豪雨災害 イオン九州と流通備蓄協定締結
平成 15 年	3月	海老津配水池完成 西部浄化センター完成、供用開始	平成 23 年	8月	山田小学校給食室増築工事完了
	5月	高倉びわが百周年を迎え記念事業実施		2月	海老津駅開業100周年
	6月	各施設に利用者端末を設置し、施設予約サービスの拡張		4月	緊急防災無線(同報系無線)開局式
平成 16 年	10月	町制40周年記念式典及びNHKのど自慢大会開催	平成 24 年	10月	国勢調査、人口32,119人、11,656世帯
	3月	町イメージソング「変わらない岡垣(ふるさと)」完成 JR海老津駅に快速電車停車		3月	第5次総合計画策定 東日本大震災 岡垣からも支援
	7月	遠賀郡4町合併協議会設置		4月	町議会議員定数16人から13人へ
平成 17 年	9月	山田小学校・海老津小学校給食民間委託	平成 24 年	10月	第20回まつり岡垣と第19回ふくおか県民文化祭2011オープニングイベントを同時開催 海老津駅南側開発事業に伴う海老津～白谷線道路工事に着手
	3月	情報プラザの駅落成式 農業集落排水事業完了		4月	町内バス運賃の平準化(150円均一)
	4月	波津漁協が芦屋、粕原漁協と合併し、 遠賀漁業協同組合発足 町営住宅海老津団地完成		7月	町イメージキャラクター「♡びわりん&びわすけ♡」に決定 池田信太郎選手ロンドンオリンピックにバドミントン混合ダブルスで出場
平成 17 年	5月	こども未来館開館			
	9月	遠賀郡合併について町民に意志を問う 住民投票実施			
平成 16 年	10月	遠賀郡4町合併協議会解散			
	12月	中学校給食センター完成 インターネット放送局開局			
	1月	中学校完全給食実施			
平成 17 年	3月	ふれあい宿泊施設若潮荘落成			

平成 25 年	9月	町制 50 周年記念式典・アトラクション開催	令和 3 年	10月	国勢調査、人口31,007人、12,120世帯
	4月	地域交流センター開館		2月	岡垣町総合防災マップ改定 岡垣 HILLS 分譲開始
平成 26 年	6月	内浦小・吉木小校庭芝生化開始	3月	第6次総合計画策定	
	1月	サンリータウンうさぎ坂 55 分譲開始	4月	新型コロナウイルスワクチン集団接種開始	
平成 27 年	7月	観光ステーション 北斗七星オープン ご当地ナンバープレート交付開始	8月	戸切小学校給食民間委託	
	4月	情報プラザ人の駅に 「Book 座 Cafe」オープン 岡垣町公式 Facebook 運用開始	12月	本格焼酎「岡垣」を使用した「岡垣びわ酒」販売	
平成 28 年	7月	いこいの里入浴施設バイオマスボイラー導入			
	8月	サンリーアイ屋根台風被害 公用車全台青パト化			
	10月	国勢調査、人口31,580人、11,784世帯となり、減少に転じる			
	11月	ふるさと大使3名就任			
平成 29 年	3月	第5次総合計画後期基本計画策定			
	4月	岡垣町英語教育改革イニシアティブ 2016（中学校の全普通教室へ電子黒板の設置、教科書音声 CD の配布、外国語指導助手の増員、英語教室の設置）			
	12月	海老津駅南側広場完成			
	2月	岡垣町公式 LINE 運用開始			
平成 30 年	4月	岡垣交番（海老津駅前）落成式			
	10月	子ども医療の通院医療費助成対象を中学3年生までに拡大 中学3年生までの子どもへのインフルエンザ予防接種助成開始 公共交通デマンドタクシー導入			
	11月	本格芋焼酎「岡垣」販売 10 周年記念商品「原酒」販売			
	2月	せせらぎの郷 分譲開始			
令和元年	3月	証明書（住民票の写し等）コンビニエンスストア交付開始			
	4月	地域情報伝達無線システム「でんたつくん」運用開始			
令和 2 年	10月	子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センター設置			
	1月	新型コロナウイルス感染症が日本で確認される			
	4月	全小学校の外国語授業に外部講師を配置 農業・漁業集落排水事業が公共下水道事業に統合			
	5月	町営住宅三吉団地（4階建て24戸）完成			
	8月	おかがままち子育て応援LINE 配信開始			
	3月	小・中学校1人1台タブレットの配布開始			





塩屋古墳



しおやこふん
塩屋古墳 (古墳時代)
全長約70mの前方後円墳
です。町内では、一番大き
な古墳です。

片山古墳群



かたやまこふんぐん
片山古墳群 (古墳時代)
古墳から甲冑 (短甲)、鉄
刀が出土しました。

長尾古墳群

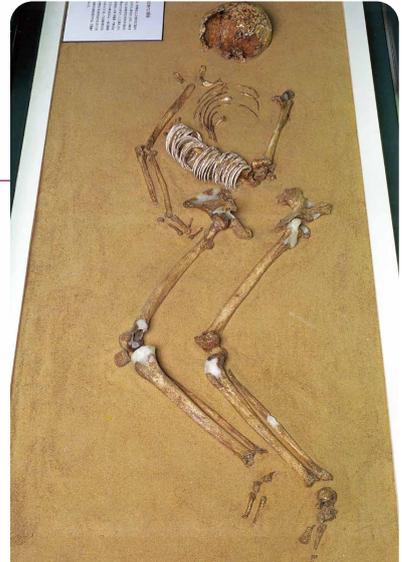


ひがしだこふんぐん
東田古墳群 (古墳時代)
古墳の墳丘から地鎮祭の跡
と思われる、大量の土器が
見つかりました。

岡垣町の主な遺跡



もとまつばら い せき
元松原遺跡 (縄文~弥生時代)
 縄文時代後期 (4,000年前頃) の土器が出土しました。弥生時代の青銅器を出土したとも言われています。



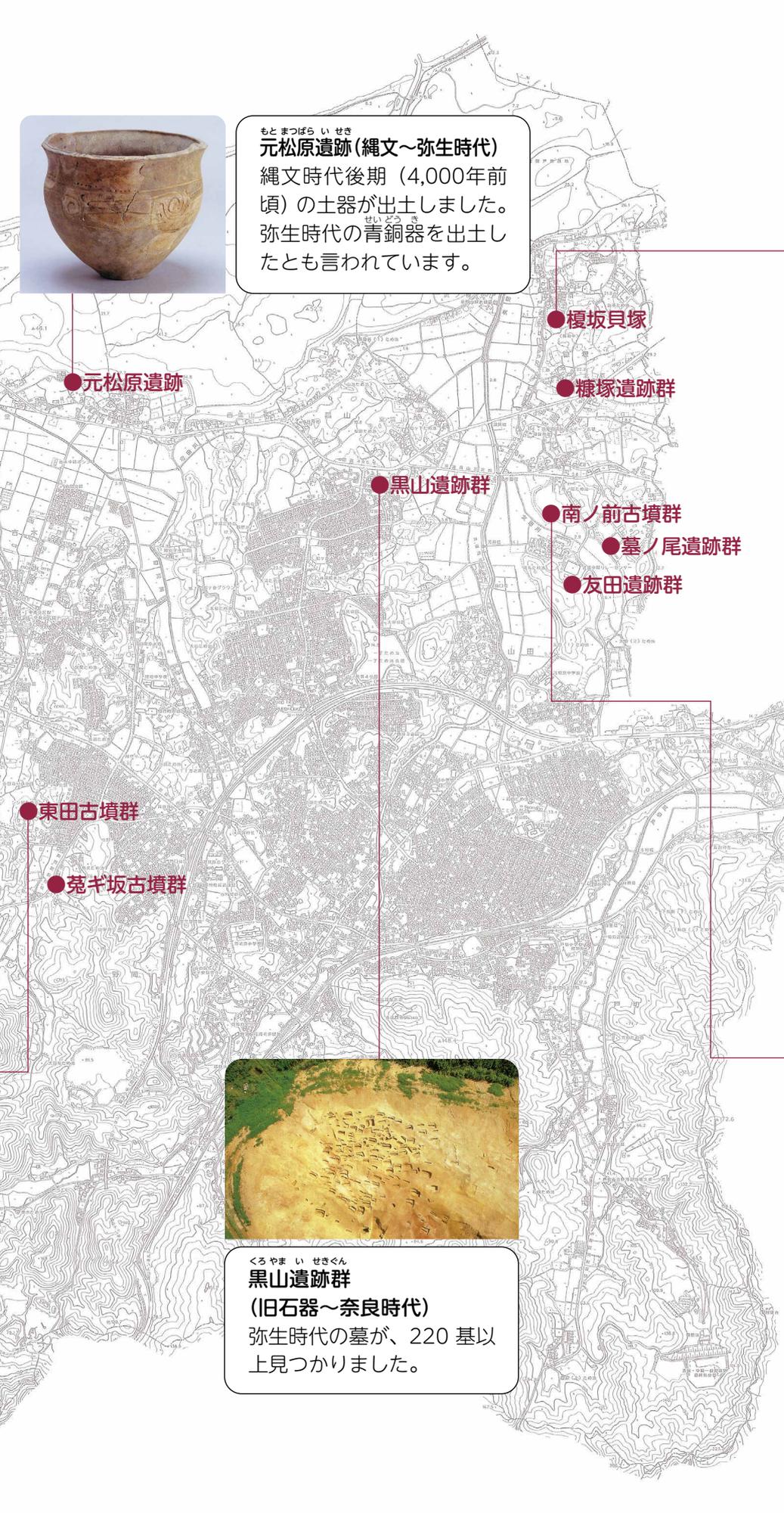
えのきざかいかいづか
榎坂貝塚 (縄文時代)
 縄文時代後期 (4,000年前頃) の貝塚です。貝塚からは、土器、石器、貝、魚骨、獣骨などが出土しています。とくに、ここでは人骨が発見されており、その人骨は、50歳代の女性で腕に29個の貝輪 (ブレスレット) をつけていました。この女性は、呪術者と考えられています。



みなみの まえ こ ふんぐん
南ノ前古墳群 (古墳時代)
 古墳、横穴墓が見つかりました。横穴墓からは、古墳時代の人骨や沖縄地方特有の貝で作った貝輪を出土しました。沖縄地方と交流、交易していたのでしょう。



くろやま い せきぐん
黒山遺跡群 (旧石器~奈良時代)
 弥生時代の墓が、220基以上見つかりました。





真福寺

大原神社

海蔵寺

岡城址

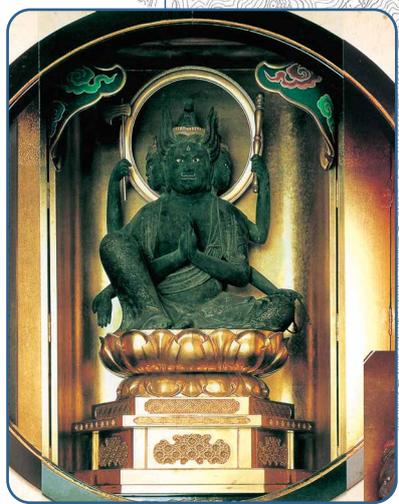
龍昌寺



大原神社の銀杏(いちよう)



真福寺の蘇鉄(そてつ)



海蔵寺にある木造馬頭観音坐像
(もくぞうばとうかんのんざぞう)

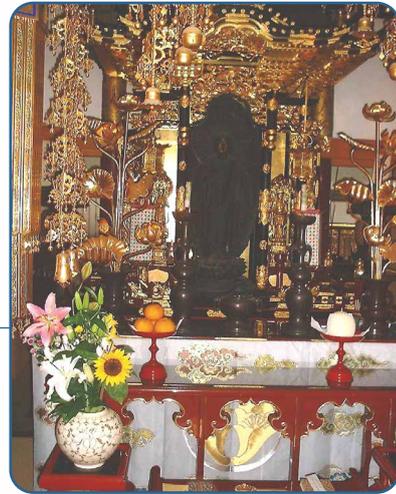


龍昌寺にある紙本著色井上周防像
(しほんちゃくしよくいのうえすおうぞう)

岡垣町の主な神社・寺・城跡



岡城址の頂上



安楽院にある木造阿弥陀如来立像
(もくぞうあみだによらいりゅうぞう)



隆守院にある木造胎藏界大日如来坐像
(もくぞうたいざうかいだいにちによらいざぞう)



高倉神社にある銅製毘沙門天立像
(どうせいびしゃもんでんりゅうぞう)

主な参考文献及び取材・資料協力

【主な参考文献】

- ・岡垣町史
- ・岡垣町第6次総合計画
- ・岡垣町環境ビジョン〔環境共生行動計画〕
- ・岡垣町農業振興地域整備計画書
- ・第5次遠賀中間地区農業振興計画
- ・三里松原再生計画
- ・福岡県の農林業
- ・漁勢調査
- ・港勢調査
- ・農業センサス
- ・漁業センサス
- ・商業統計
- ・岡垣町町勢要覧 2012
- ・岡垣町町勢要覧 2008
- ・おかがき百科
- ・ぽすとするまっぷ岡垣町
- ・写真集「ふるさと岡垣」田中睦生編集
- ・図録岡垣町の文化財Ⅰ
- ・三里松原の歴史
- ・福岡県歴史資料集（増補版）
- ・岡垣町伝承民話集むかしばなし
- ・学校外活動の手引き
- ・己百斎筆語
- ・高倉びわ（高倉びわ百周年記念誌）
- ・水の風景（岡垣町水道事業35周年記念誌）

【主な取材・資料協力】（順不同、敬称略）

- ・後藤 信二
- ・田中 照代
- ・門司 允巳
- ・川原 正訓
- ・中村 和信
- ・小早川 徳定
- ・神山 誠
- ・ホテルの里づくり会
- ・イオン岡垣ショッピングセンター
- ・岡垣青空市場
- ・岡垣町商工会
- ・遠賀漁業協同組合波津本所
- ・(有)遠賀グストセンター
- ・永順産業(株)三吉工場
- ・(株)九州イノアック北九州工場
- ・JA北九（北九州農業協同組合）
- ・セブンイレブン岡垣吉木店
- ・(株)丸都運輸
- ・(株)やっぱあ～岡垣
- ・(株)山形種鶏場
- ・航空自衛隊芦屋基地司令
- ・福岡県折尾警察署岡垣交番
- ・福岡県折尾警察署波津駐在所
- ・北九州市環境局循環社会推進室施設課
- ・遠賀・中間地域広域行政事務組合
- ・岡垣町役場

※取材当時の名称です。

監修

割石 博之 九州大学 基幹教育院・教授

編集委員

〈初版〉

十時 榮一 (元岡垣町教育委員会 教育長)
花田 敏彦 (岡垣町教育委員会 教育長)
本田 典生 (岡垣町教育委員会 教育総務課 課長)
辻 芳和 (岡垣町教育委員会 生涯学習課 課長)
秦 啓 (岡垣町教育委員会 教育総務課 教育総務係 係長)
広渡 要介 (岡垣町教育委員会 生涯学習課 社会教育係 係長)
下川 航也 (岡垣町教育委員会 生涯学習課 社会教育係 主任)
木原 貞美 (岡垣町立海老津小学校 校長)
田中 和則 (前岡垣町立戸切小学校 校長)
原 伸明 (岡垣町立内浦小学校 教頭)
早川 博道 (岡垣町立岡垣東中学校 主幹教諭)
島 和枝 (岡垣町立内浦小学校 主幹教諭)
樋口陽一郎 (岡垣町立海老津小学校 主幹教諭)
東 恒平 (岡垣町立戸切小学校 主幹教諭)
石田 輝昭 (岡垣町立山田小学校 教務主任)
上之 浩 (岡垣町立吉木小学校 教務主任)
森山 公治 (遠賀町立島門小学校 主幹教諭)

〈第2版〉

野口 浩 (岡垣町立山田小学校 教頭)
木原 緑 (岡垣町立吉木小学校 教頭)
松澤 正明 (岡垣町立内浦小学校 主幹教諭)
島 和枝 (岡垣町立海老津小学校 主幹教諭)
熊谷 浩明 (岡垣町立戸切小学校 主幹教諭)
中西 靖彦 (岡垣町立山田小学校 主幹教諭)
小根森 実 (岡垣町立吉木小学校 主幹教諭)

〈第3版〉

石田 輝昭 (岡垣町立戸切小学校 校長)
高岸由紀子 (岡垣町立内浦小学校 主幹教諭)
高川 伸美 (岡垣町立海老津小学校 主幹教諭)
原口美津代 (岡垣町立戸切小学校 主幹教諭)
桑原 健介 (岡垣町立山田小学校 主幹教諭)
小原 伸悟 (岡垣町立吉木小学校 主幹教諭)
株式会社 利助オフィス

岡垣町総合学習副読本

おかがき
ナビ

おかがきの、いいところ
探そう!

初 版 平成25年2月
第2版 平成29年2月
第3版 令和 4 年2月
発 行 福岡県岡垣町
編 集 岡垣町教育委員会
制 作 株式会社 利助オフィス



小学校			
3年	組	4年	組
5年	組	6年	組
なまえ			

おかがきナビの作成には、「おかがき応援寄附金」が使われています。